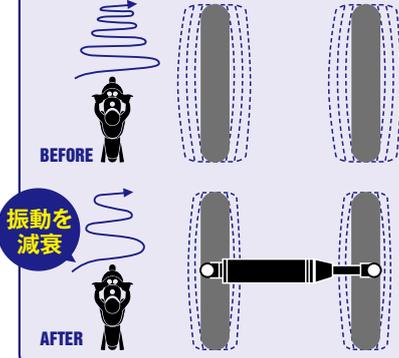


ベテランライダー田宮が実走！ アルミフレームでも効果は感じる？



MT-09でも、装着直後からノーマルとの違いが感じられた。市街地の速度域でも直進安定性が増した感触。バンピーな峠道では、車体の安定感が増した雰囲気があった。これは首都高で路面の継ぎ目を通じたときも同様で、走りの上質感がアップした印象だ。あと、すぐに慣れたが、特に高速域では車体の寝かせ始めや切り返しはやや重くなった。落ち着きある走りで疲労感が軽減されることも考えると、スポーツ以上にツーリングとの相性が良さそう！

パフォーマンスダンパーの効く仕組み



●走行中の二輪車は、外から大きな力が加わりフレームにごく僅かな変形が生じる。フレームは金属製なので変形に対する減衰性が低く、外力エネルギーがほぼそのまま蓄積・放出され、固有振動数で変形を繰り返そうとする。これを減衰してたわむ速度を緩やかにするのがパフォーマンスダンパーの役割だ

これを二輪車に転用したのが、ワイズギアから発売されているパフォーマンススタンパー。エンジンや路面からの振動を減衰して抑えることで、快適性や安定性の向上を図ることができるアイテムだ。二輪車用は、パワービームの名称だった時代を含めて10年の歴史。筆者も以前、セロー250で効果

強く印象に残る体感性能！
ヤマハが開発したパフォーマンススタンパーは、2001年のトヨタクラウンアスリートVXに市販車初採用されたのを皮切りに、レクサスなどの高級車にも搭載され、生産累計200万本の実績を持つ画期的な技術である。

特に、走りの安定感と上質感がアップするのが魅力だ！
パフォーマンススタンパーのストロークは1mm以下。これはつまり、フレームが変形するといってもその量はごく僅か……ということなのだ。この「ほんの少し」が意外と車体の走りに影響を与えていることは、パフォーマンスダンパーを装着することで実感できる。

を体感している。しかしそのときは、装着していない状態と同時比較試乗ができなかったため、少しだけブラッシーボ効果を感じていたのも事実。とはいえ、その上質な走りは強く印象に残っており、愛車の最終型トリッカーにも装着しようと考えていたところだ。



●YZF-R25やMT-07、セロー250および同じフレームを使うそれらのバリエーションモデル、TMAXやSR400など、さまざまなヤマハ車に対応。21年型でフルチェンジした新型MT-09 & TRACER9用も既にラインアップ！

MT-09 / TRACER9 (2021~) 用のセット内容



※2021年からデザイン変更



Y'S GEAR

パフォーマンスダンパー

価格：3万8000円 (SEROW250 / XT250X / トリッカー、SR400、TMAX) ~ 3万9600円 (MT-09 / TRACER9 2021 ~)

さらに上質な走りを
求めるならワイズギアの

パフォーマンス ダンパーがNO.1

※画像はMT-09 / TRACER9 (2021 ~) 用 (価格:3万9600円)